

地域社会との緊密な連携を築く

## 地域・学校と協働し、生徒の豊かな成長を支えるPTA活動

尾張旭市立旭中学校PTA

### 1 はじめに

旭中学校は、昭和22年に開校し、今年度で創立75年を迎えた尾張旭市内で最も歴史のある中学校である。市の中央部に位置し、周囲には市役所や文化会館などの公共施設や名鉄瀬戸線の尾張旭駅があり、利便性の高い立地である。毎年、市内4小学校区から280名程度の生徒が入学し、現在は、生徒数855名、学級数26学級（うち特別支援学級3学級）の大規模校である。「凡事徹底 そして 自律・貢献へ」という教育目標のもと「当たり前前（あたりまえ）のことを当たり前前（あたりまえ）に行うことができる生徒」「気づき、考え、自分を律した行動ができる生徒」「ひとのために、主体的に行動できる生徒」をめざす生徒像として、教育活動を進めている。



【校地南東から臨んだ校舎】

### 2 研究への取組

#### (1) 研究のねらい

本校PTAは、登校時の見守りなどを通して地域と協力しながら活動してきた。しかし、一昨年度の新型コロナウイルス感染症の流行以来、感染症対策や度重なる緊急事態宣言、まん延防止等重点措置により、活動の縮小・中止が続いている。また、共働きの家庭の増加、生活様式や考え方の多様化により、これまでのPTA活動を維持していくことが難しくなっている。

そこで、今年度は、これまでの活動に捉われることなく、学校や地域の実情に合わせながら、できることを無理のない範囲で行うことを基本としてPTA活動に取り組んでいくことにした。

#### (2) PTAの組織

本校のPTA組織は、会長1名、副会長4名（各小学校区から1名ずつの選出）、庶務会計1名、会計監査2名、各部部長4名の役員12名と委員36名の計48名で構成されている。会長、会計監査を除く他の役員・委員は、小学校区ごとにその在籍生徒数の比率に応じて2年生生徒の保護者から選出され、研修部、広報部、生活安全部、環境整備部に分かれて活動している。

(3) 各部の主な活動

- 研修部 … P T A 研修会の企画・運営
- 広報部 … P T A 広報「中学あさひ」の企画・編集・発行
- 生活安全部…あいさつ運動の企画・運営
- 環境整備部…学校花壇の整備ボランティア

年間の主な事業計画は以下のとおりである。

月	事業内容	月	事業内容
4	第1回委員会 総会 制服リユース	10	父母と教師の教育を語る会 あいさつ運動
5	あいさつ運動	11	教育懇談会 第4回委員会
6	第2回委員会 あいさつ運動		あいさつ運動
7	広報「中学あさひ」発行	12	広報「中学あさひ」発行
8	夏季休業中の学校花壇の水やり・除草ボランティア	1	
9	子どもたちの明日を見つめる会 第3回委員会 研修会	2	第5回委員会 あいさつ運動
		3	広報「中学あさひ」発行 新旧役員会

3 実践活動の概要

(1) あいさつ運動

本市では、青少年健全育成推進会議が主体となり、小中学校区単位で地域のあいさつ運動が行われている。朝早くからたくさんの地域の方が集まり、正門・北門・西門に分かれ、気持ちの良いあいさつで生徒たちを出迎えてくれている。生徒たちが小学生のころから見守ってくれている方も多く、知った顔に安心するのか、生徒たちも自然と笑顔であいさつをする様子が見られる。



【あいさつ運動】

P T A でも、生活安全部が年間5回ほど、東西にある昇降口付近に立ってあいさつ運動を行っているが、そのうちの2回を地域のあいさつ運動にあわせて活動している。今年度は、生徒会を中心に、生徒や職員の有志も時期をあわせてあいさつ運動を行った。学校・地域・P T A が連

携して取り組んでいることもあり、生徒たちのあいさつへの意識は高く、日常的なあいさつの習慣が身についていることを感じる。

(2) P T A研修会

研修部では、地域の人材活用を意識してP T A会員向けの研修を行っている。今年度は、校区に店舗を構える洋菓子店エミリーの小野義秀さんを講師に招いて、ケーキづくりの研修会を企画した。コロナ禍のため、人数を制限しての募集であったが、たくさんの会員から参加希望があった。9月7日（水）の開催に向けて、打合せ・準備を進めていたが、直前で講師の都合により実施できなくなってしまった。日程の調整がつかなかったため、残念ながら本年度は中止としたが、過去の開催では満足度の高かった研修であり、今後も続けていきたい活動である。



【過去のケーキづくり教室の様子】

(3) 広報「中学あさひ」の発行

広報部では、各学期に1回P T A広報「中学あさひ」を発行している。野外活動、修学旅行、体育大会、文化発表会などの学校行事の様子や、生徒会活動の紹介、部活動の様子、卒業に向けたメッセージなど内容を工夫して掲載している。

体育大会では、腕章をつけた広報部員が写真撮影に動き回る様子が見られた。部員からは「写真撮影をしながら、間近で白熱する子どもたちの様子を見ることができてよかった」といった声も聞かれた。負担となるP T A活動だが、よい一面もある。

広報は、学期末に会員向けに配布している。また、地域には回覧を依頼している。会員や地域の方が学校を知るためのよい機会となっており、今後も継続していきたい活動である。



【一学期に発行した「中学あさひ」】

(4) 学校花壇の整備

環境整備部では、学校花壇の整備作業に携わっている。種まき、花芽のポット移植、苗の定植などの作業を学校で行う際、参加できる部員が無理なく参加することになっている。また、夏季休業中の土・日曜日や学校閉校日（8月10日～8月16日）に水やりや除草作業を行い、学校を支援している。

(5) 部活動の外部指導者

本校では、部活動指導員4名、外部講師7名と多くの外部人材が部活動の指導に携わっている。そのうちの6名が校区や市内の在住者及び在勤者である。また、それ以外にもPTAも含め、ボランティアで部活動指導に関わっている方が複数おり、多くの部活動が地域の方々に支えられて活動している。今後、部活動改革により、部活動の地域移行が進められるとされている。本校では、顧問不足により、存続が危ぶまれたり、活動が制限されたりしている部活動もあり、大きな課題となっている。生徒にとって望ましいスポーツ・文化活動が維持されるよう、PTAとしても地域と連携して支援する道を探っていきたい。



【男子ソフトテニス部の指導の様子】

(6) 総合的な学習の時間

1年生の総合的な学習の時間では、働くことをより具体的にイメージするために、様々な職種の人をゲストスピーカーとして招き、「職業人に学ぶ会」を行っている。今年度も、地域の方やPTA会員も講師として参加し、生徒たちに社会人としての生の声を聞かせる予定がある。

2年生の総合的な学習の時間では、例年職場体験を行ってきた。しかし、生徒数が多い本校では、コロナ禍で受け入れ先を探すことが困難なため、今年度から「SDGsを地域へ広めよう」という取り組みに変更した。今後、この取り組みに対してどのような支援ができるか相談していききたい。

#### 4 おわりに

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、それまで行ってきた活動のほとんどが中止を余儀なくされた。また、わずかに実施することができた活動も縮小してのものであった。そのため、活動内容の引き継ぎが十分にできず、本年度は執行部・各部ともに手探りの状態でスタートすることになったが、各部で話し合いながら無理なく着実に活動してきた。コロナ禍を活動改編の機会として前向きにとらえ、今後も会員の負担を抑制しつつ、子どもたちの豊かな成長を支えられるように活動していきたい。

また、本校では、今年度から学校運営協議会（コミュニティスクール）が立ち上がったが、本格的な活動には至っていない。PTAからは昨年度までの役員経験者が協議会委員として参加しているが、現在の役員・委員ではないため、連携した活動を行うことが課題である。今後は、学校運営協議会を中心として学校・地域・PTAが協働し、生徒たちの豊かな成長を支えていくことが求められる。PTAとして、どのように関わっていくことができるのか、コロナ禍を超えた次の時代の活動のあり方を模索していきたい。